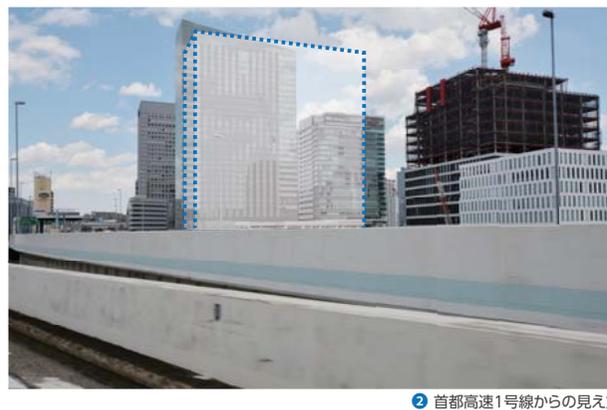
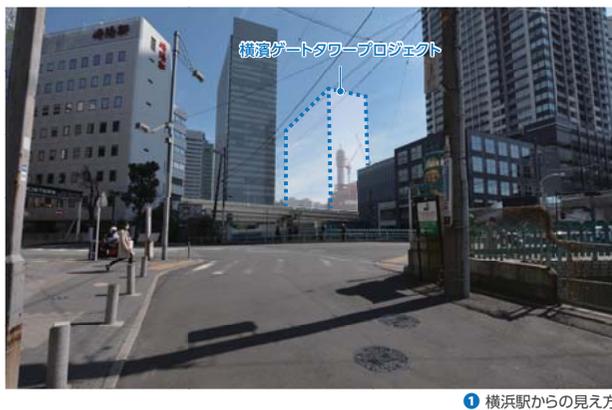
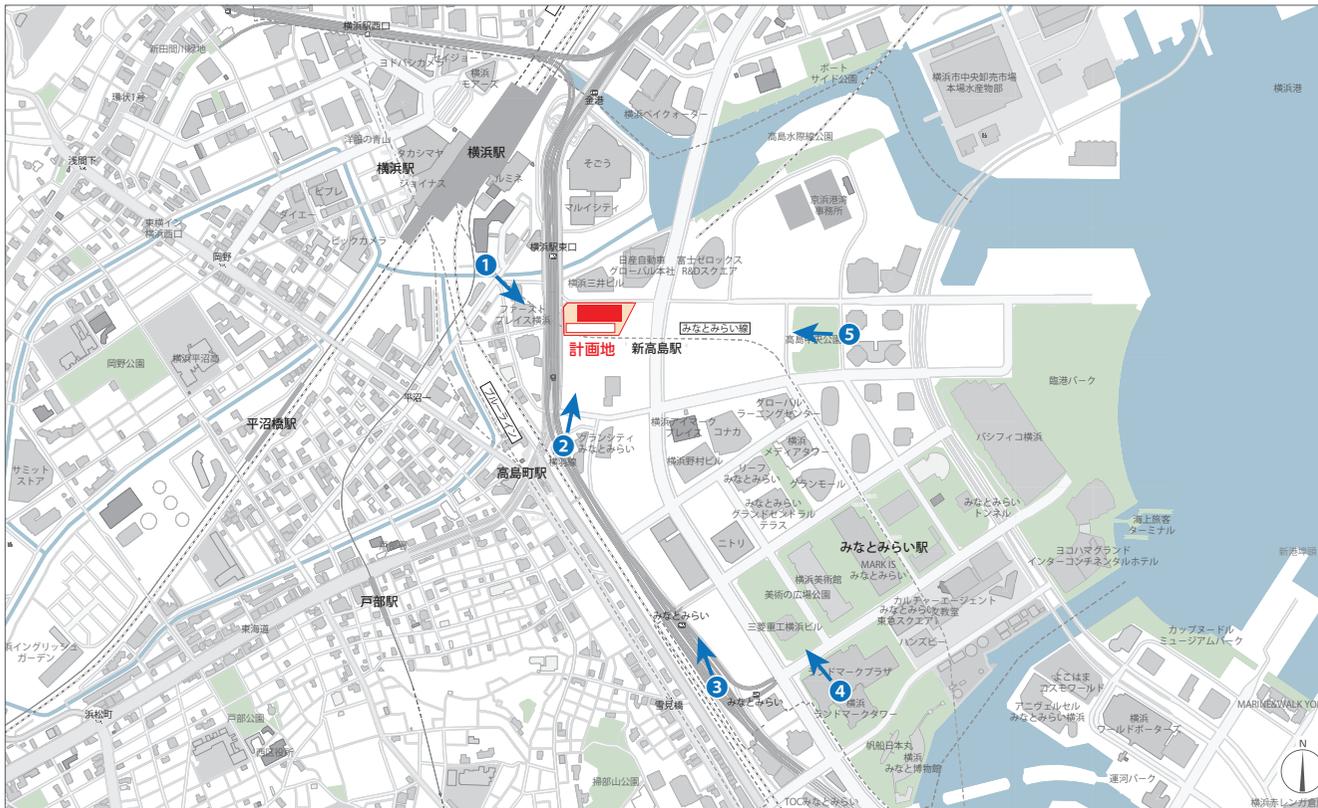


【高層棟】遠景／スカイライン

景観形成ガイドラインのスカイライン構成を意識し、隣棟との滑らかな連なりを形成するボリューム計画・配置計画とします。
 周辺建物の高さとのバランスに配慮し、みなとみらい21地区全体のゲートを形成します。

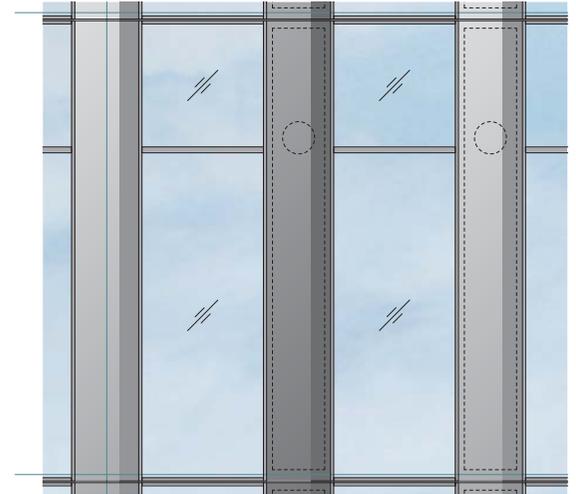


敷地を読み込み、街区の良質な景観形成を図ります。

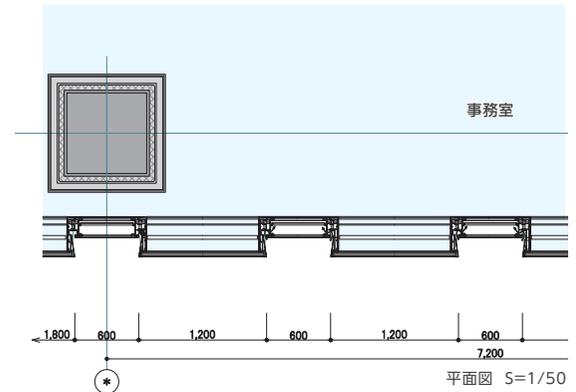


【高層棟】中景／外装計画 1 南側ファサード

A案(原案)



立面図 S=1/50



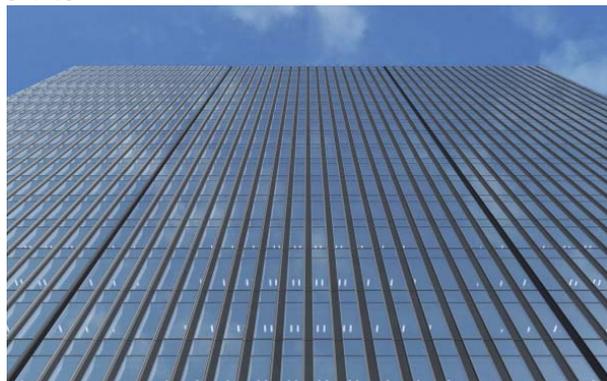
平面図 S=1/50



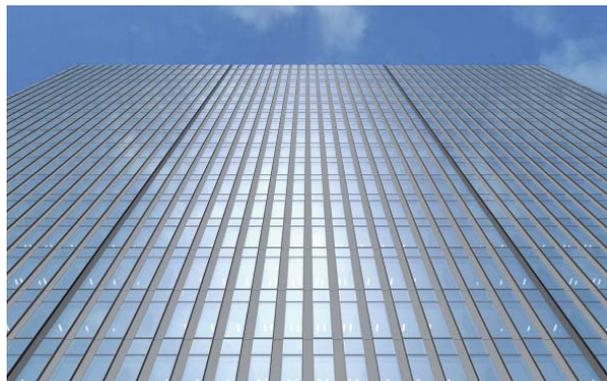
【高層棟】近景／外装計画 2 南側ファサード 細かい分節による見え方の検証

■ 季節・時刻の経過とともに陰影が移ろい多彩な表情を見せる、細かい分節の集合によるファサード

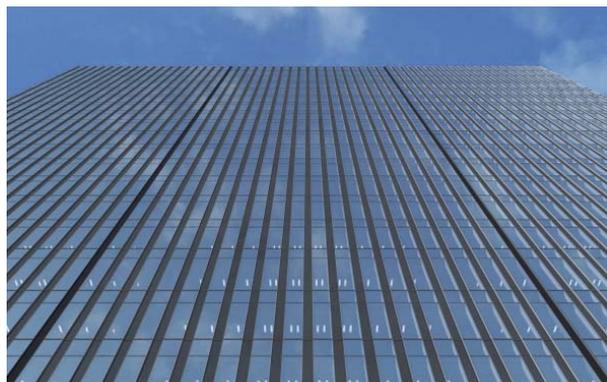
【春秋分】



8:00



12:00



16:00

【夏至】



8:00



12:00



16:00

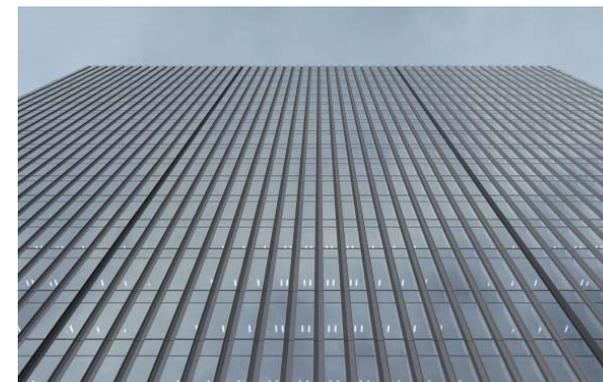
【冬至】



8:00



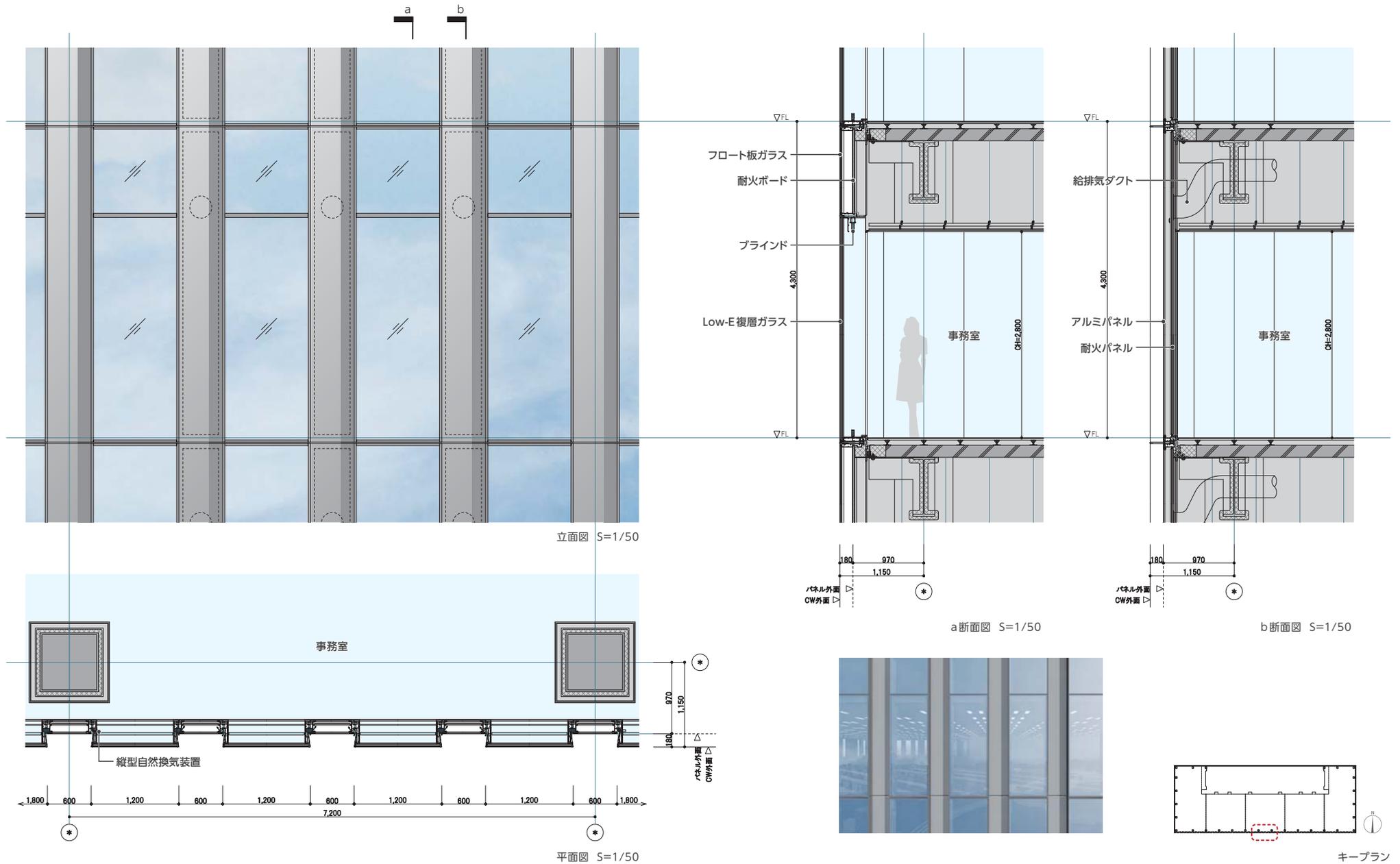
12:00



16:00

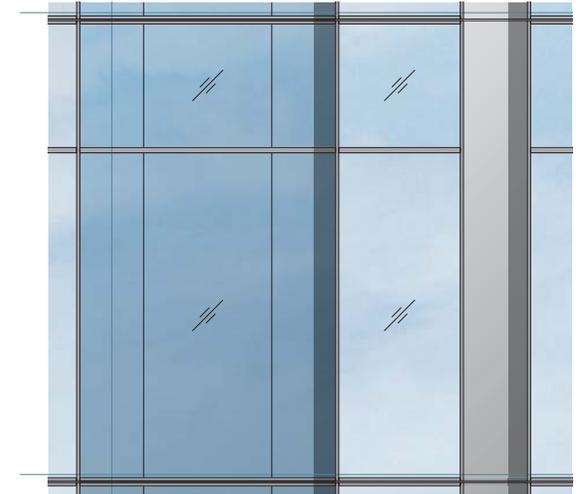
【高層棟】近景／外装計画 3 南側ファサード 詳細図

■ 南側 基準部詳細図

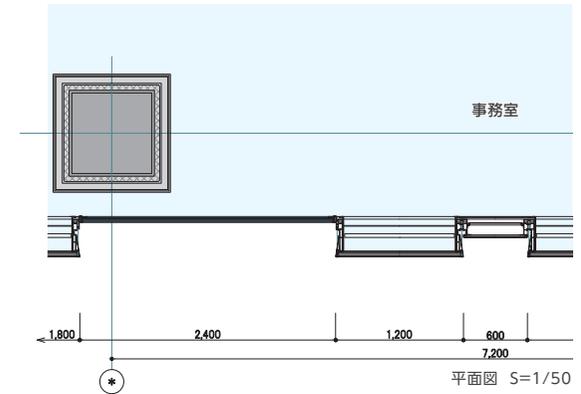


【高層棟】中景／外装計画 4 南側ファサード 3分割案

B案(比較検討案 1)



立面図 S=1/50

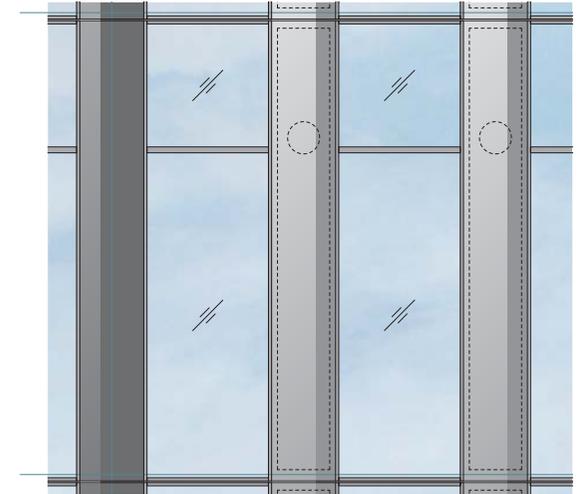


平面図 S=1/50

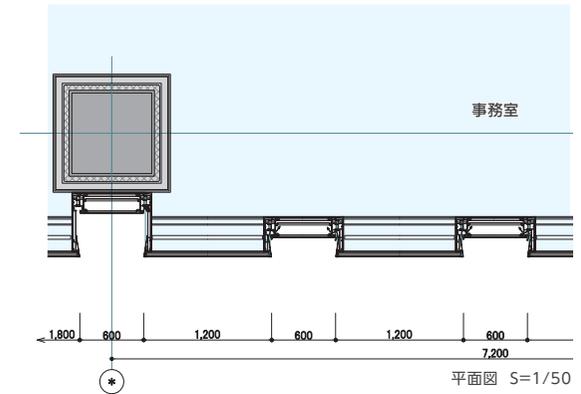


【高層棟】中景／外装計画 5 南側ファサード 柱前分節案

C案(比較検討案 2)



立面図 S=1/50

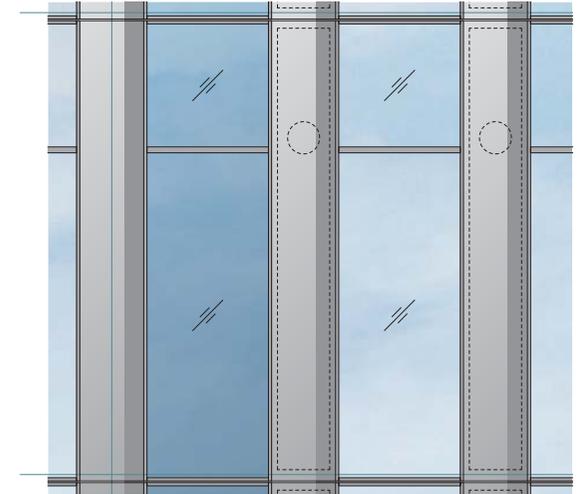


平面図 S=1/50

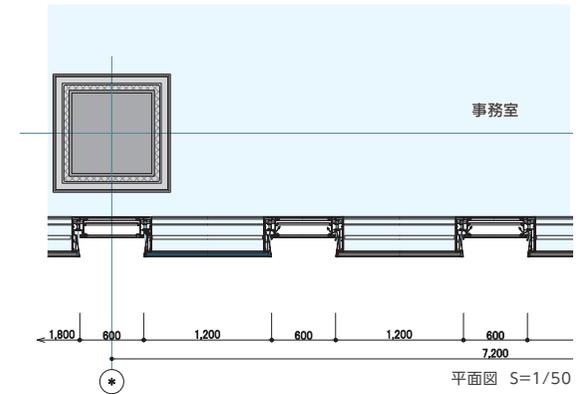


【高層棟】中景／外装計画 6 南側ファサード 任意分割案

D案(比較検討案 3)



立面図 S=1/50



平面図 S=1/50



【高層棟】中景／外装計画 7 北側ファサードの分節

■ 基準階設備バルコニーに設置した縦型ルーバーによりファサードの分節化を図る。



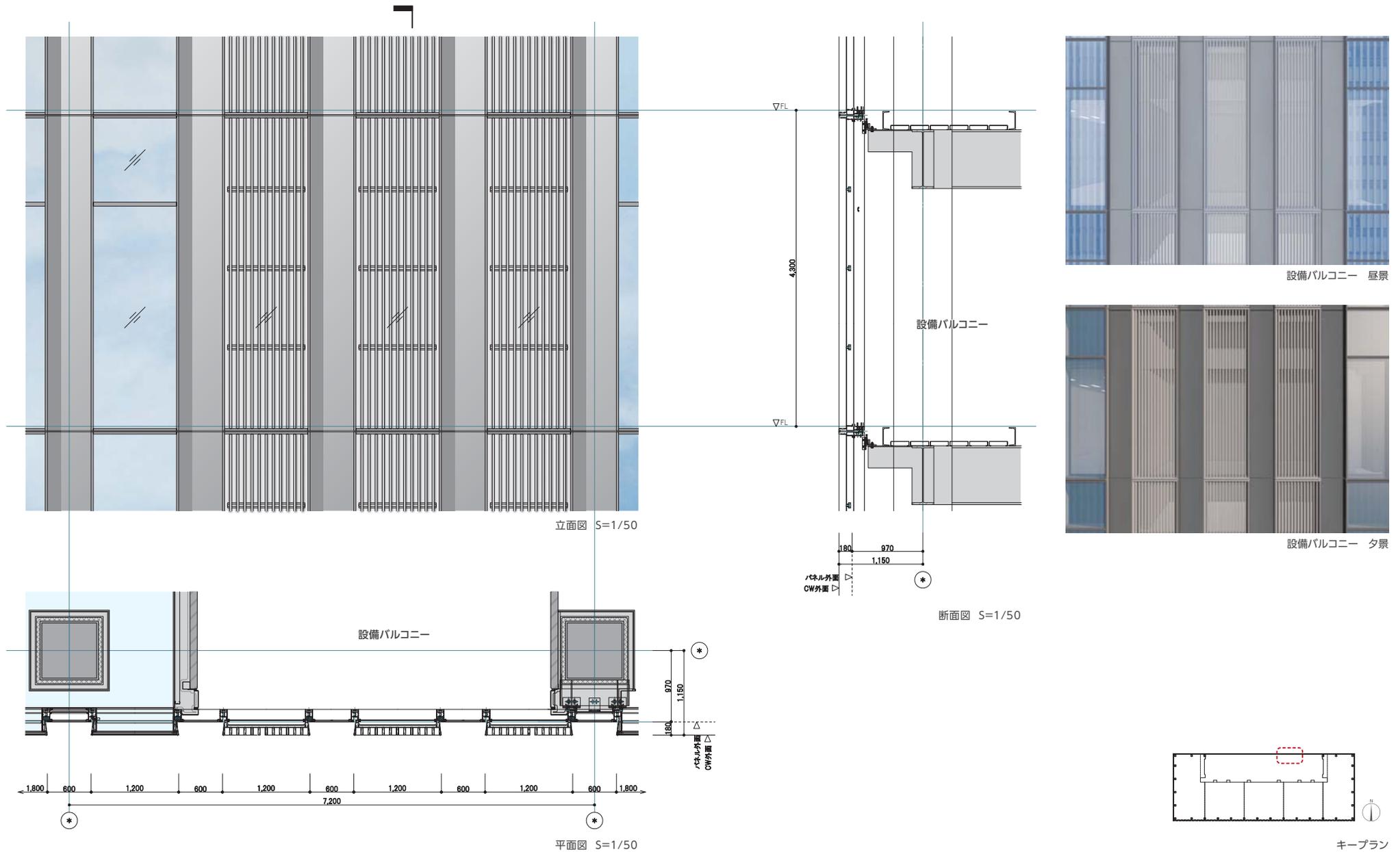
北側ファサード(北東-昼景)



北側ファサード(北東-夕景)

【高層棟】近景／外装計画 8 北側ファサード 詳細図

■ 北側 設備バルコニーガラーリ詳細図



【高層棟・低層棟】外装計画 9 仕上仕様



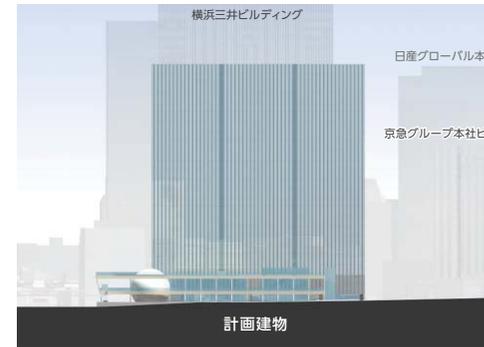
【低層棟】
 ・木質調仕上げを基調に来街者にとって親しみ易い空間を創る。

南側ファサード

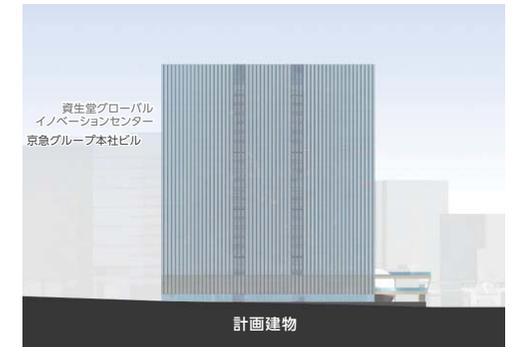


【高層棟】
 ・3階以上
 落ち着いた色調の塗装を施したパネルとガラスで構成する洗練された開口形状により、良好な都市景観形成に寄与するよう配慮する。
 ・2階部分
 石かな当り感豊かな自然素材で構成し、落ち着いた風格ある街並みとの調和を演出する。
 ・1階部分
 基本的に透明なガラスで構成し、建物内部のアクティビティを視覚化、内外の連続性を創出する。

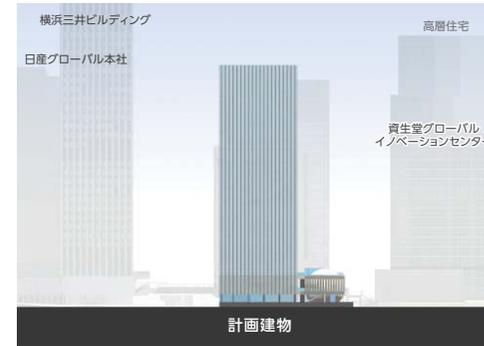
北側ファサード



南立面図



北立面図



西立面図

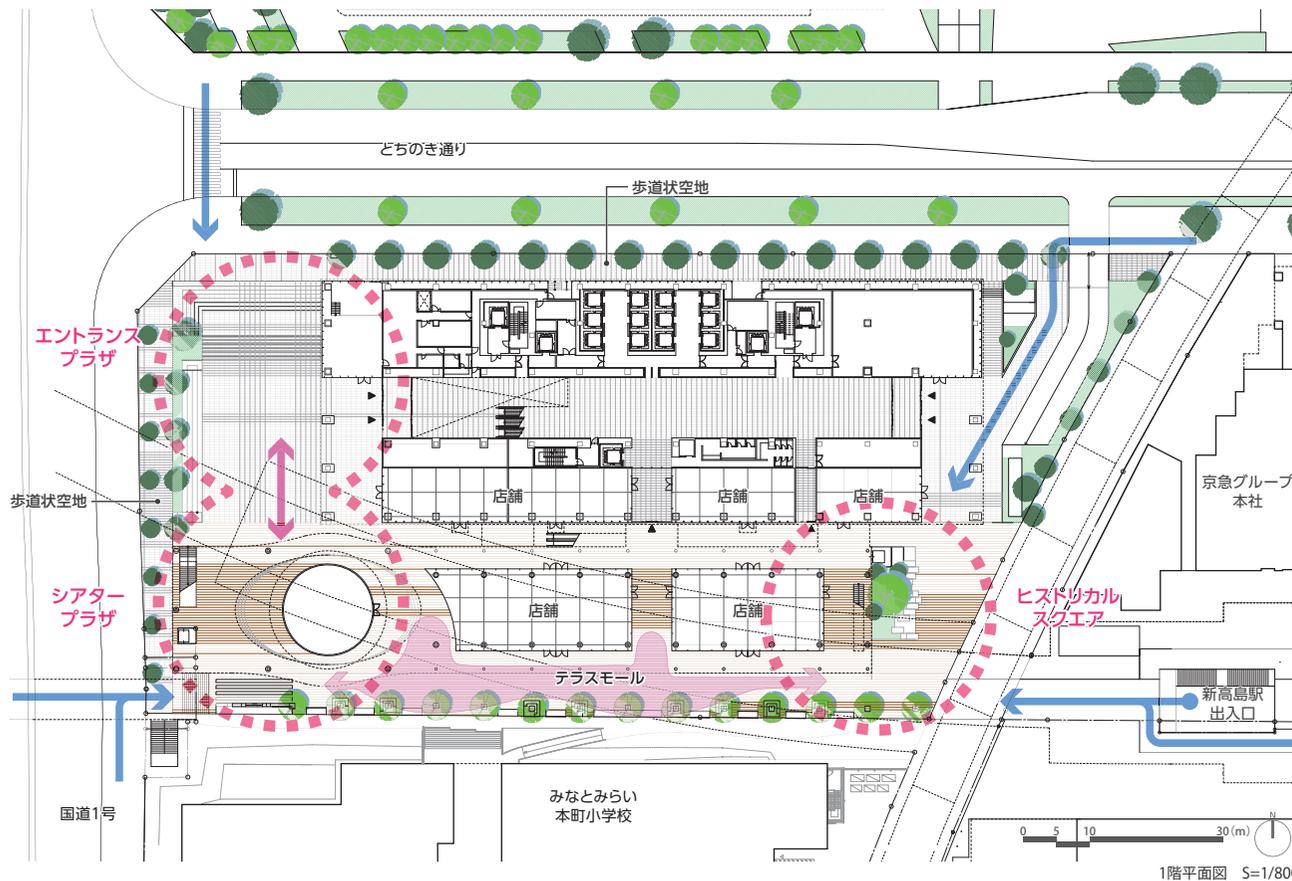


東立面図

【低層棟】近景／ commonspace

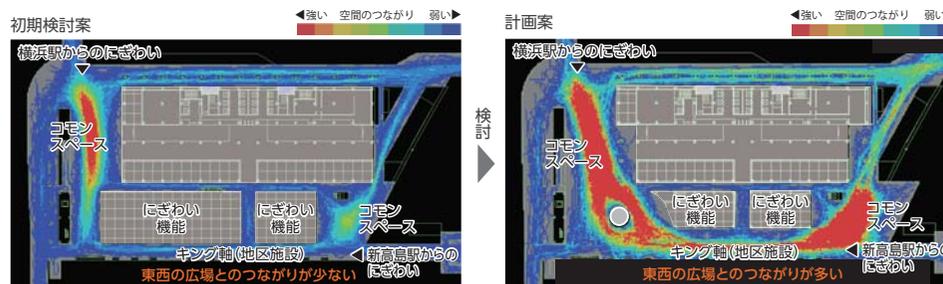
にぎわい・交流のステージとなる、周辺環境と一体となった commonspace を創出します。

■ 特長ある3つの commonspace (オープンスペース) を計画します。



■ VGA解析と配置計画

- 横浜駅からのにぎわいを西側の commonspace で受け止め、キング軸に人の流れを誘導するために、空間的なつながりをVGA手法を用いて評価し、配置計画に活かしました。
- さらに、低層棟のにぎわい機能をセットバックして、コネード空間を地区施設に沿って設けることで、地区施設と commonspace のつながりを強化しました。



■ にぎわいの拠点となる3つの commonspace

- 3つの commonspace は上位計画の趣旨や周辺の状況をふまえ、日常からイベント利用時まで様々な活動が可能なにぎわい拠点とします。



【エントランスプラザ】

- 施設全体のフォーマルなエントランスとしての空間であるだけでなく、シアタープラザと一体となり様々なイベントを開催できる広場として整備します。



【シアタープラザ】

- シンボリックなプラネタリウムの球体を中心に、1階・2階・屋上が連携する立体構成の広場とします。1階球体周辺の床を掘り下げたプラザや半屋外の広場は、日常からイベント利用時に至るまで様々な活動の場となり、にぎわいの中心となります。

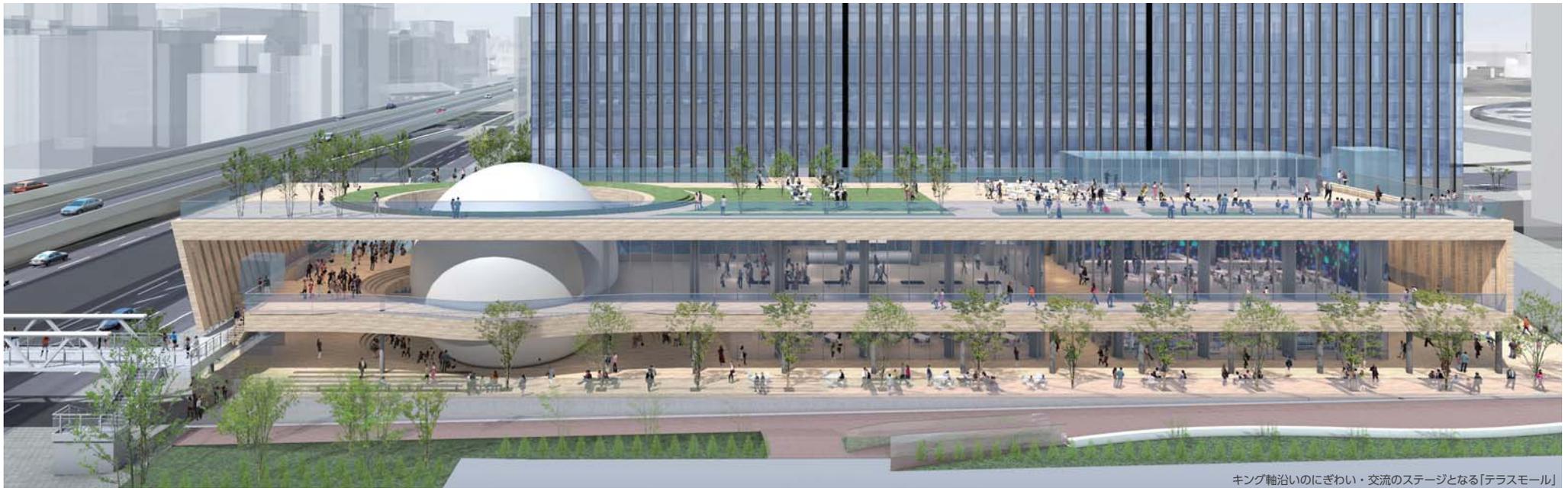


【ヒストリカルスクエア】

- 鉄道の歴史や場所の記憶をモチーフに、貨物やコンテナをイメージしたアートベンチとシンボリックのケヤキを中心としたヒューマンスケールの憩いの広場を創ります。

■ キング軸沿いに配置した「テラスモール」が人々の憩いと交流を創出します

【低層棟】近景／アクティビティフロア 1 (テラスモール)



キング軸沿いの「にぎわい・交流のステージ」となる「テラスモール」

■ 人々の憩い・交流・にぎわいを生み出す「テラスモール」

- キング軸の起点となる地区施設として、人々の歩行空間であると同時に憩いと交流、にぎわいを発信する「テラスモール」を創ります。ウッドデッキの通路に沿って店舗や上階に誘う階段・エスカレーターを配置し、スムーズな動線により交流を促すとともに、様々なベンチを要所に配置し人々の憩いの場を提供します。

■ フレーム状の低層部デザインと連続性のあるにぎわい空間

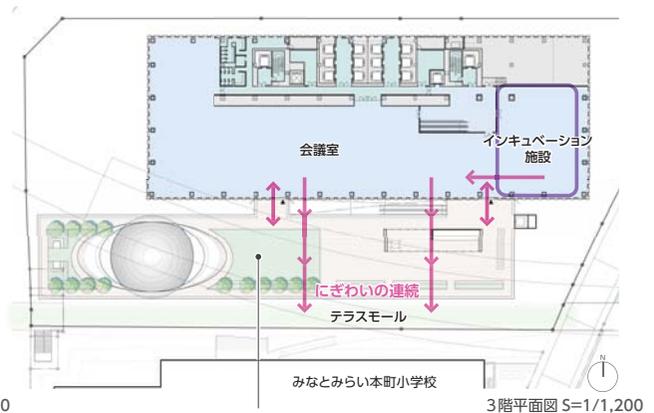
- 低層棟は、フレーム状のデザインとし、南北方向は開放的な構成とすることで、テラスモールや高層棟と連続するにぎわいを生み出します。開放的な低層棟は親しみやすい木質調の素材を採用します。
- 各階が有機的に連続し、テラスモールと一体となり、にぎわいを発信します。



テラスモール
 commonsペースとにぎわい施設・店舗を流動的に連結させ、行きかう人々の偶発的なコミュニティ形成を促す役割を果たします。



高島二丁目歩道橋との接続
 歩道橋端部を改修して計画内に新設する階段やエレベーターと接続し、2階のデッキや1階の「シアタープラザ」「テラスモール」への自由なアクセスを可能にします。



アーバンテラス
 屋上は緑化されたデッキ空間とすることで、来街者やオフィスワーカーの憩いと交流の場になります。高層棟3階との一体利用や季節毎の各種イベントにも利用します。

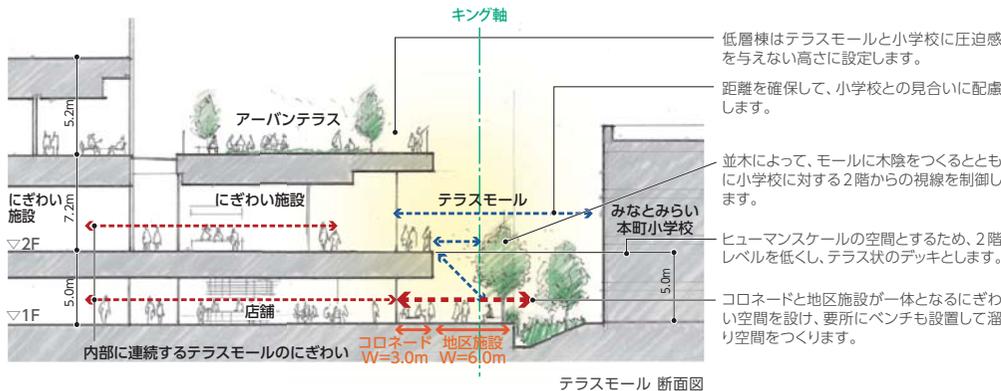
【低層棟】近景 / アクティビティフロア 2 (テラスモール・とちのきストリートギャラリー)

■ 季節感の演出と隣接する小学校への配慮



豊かな緑を背景に人が主役となる「テラスモール」

- テラスモールの並木は広葉樹を主体とし、夏は木陰をつくり、冬は日射を妨げない配慮をするとともに季節感を演出する計画とします。
- テラスモールに隣接する小学校との見合い対策として、建物間の距離の確保、視線を制御するための植栽の配置、圧迫感を与えない高さとしします。



テラスモール 断面図

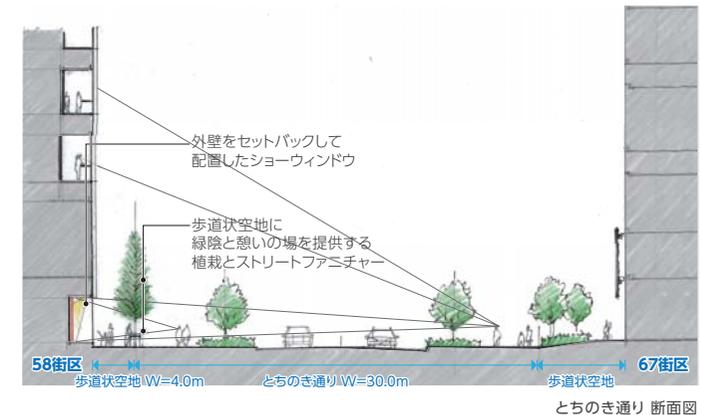
■ 演出された風景を持つストリートギャラリー



人々の交流を促す「とちのきストリートギャラリー」

■ とちのきストリートギャラリー

- とちのき通りに面する歩道状空地には、常緑樹を全体に列植し、歩道の植栽計画を補強して緑の景観をつくれます。
- 1階外壁部には、ショーウィンドウを設け、植栽の足元にはスタンディングテーブルやベンチとして使用するストリートファニチャーを設置し、全体として演出された風景を持つストリートギャラリーとします。



とちのき通り 断面図

計画地の気候風土や環境・生態系に適合する潜在自然植生に基づいた計画とします。

生態系に適した植栽計画をベースにすることで、枯れにくく健全に育つ植栽の計画とします。

また、コモンスペース・地区施設・にぎわい施設等の特徴に適合する樹種を選定することで、計画地全体のコンセプトに合致する計画とします。



潜在自然植生図

A：計画地全体

人間が一切の手を加えず、その土地の気候風土に応じて育つ潜在自然植生に基づいた樹種とします。

主な樹種：常緑 タブノキ、シロダモ、クロガネモチ、ヤマモモ等
落葉 エノキ、ムクノキ、オオシマザクラ等

B：とちのき通り側 列植栽

風環境も考慮した防風効果の高い樹種。ギャラリー空間と融合する細身で垂直型、ストリートギャラリーへの視認性も考慮した樹種とします。

主な樹種：常緑 タブノキ等

C：キング軸側 列植栽

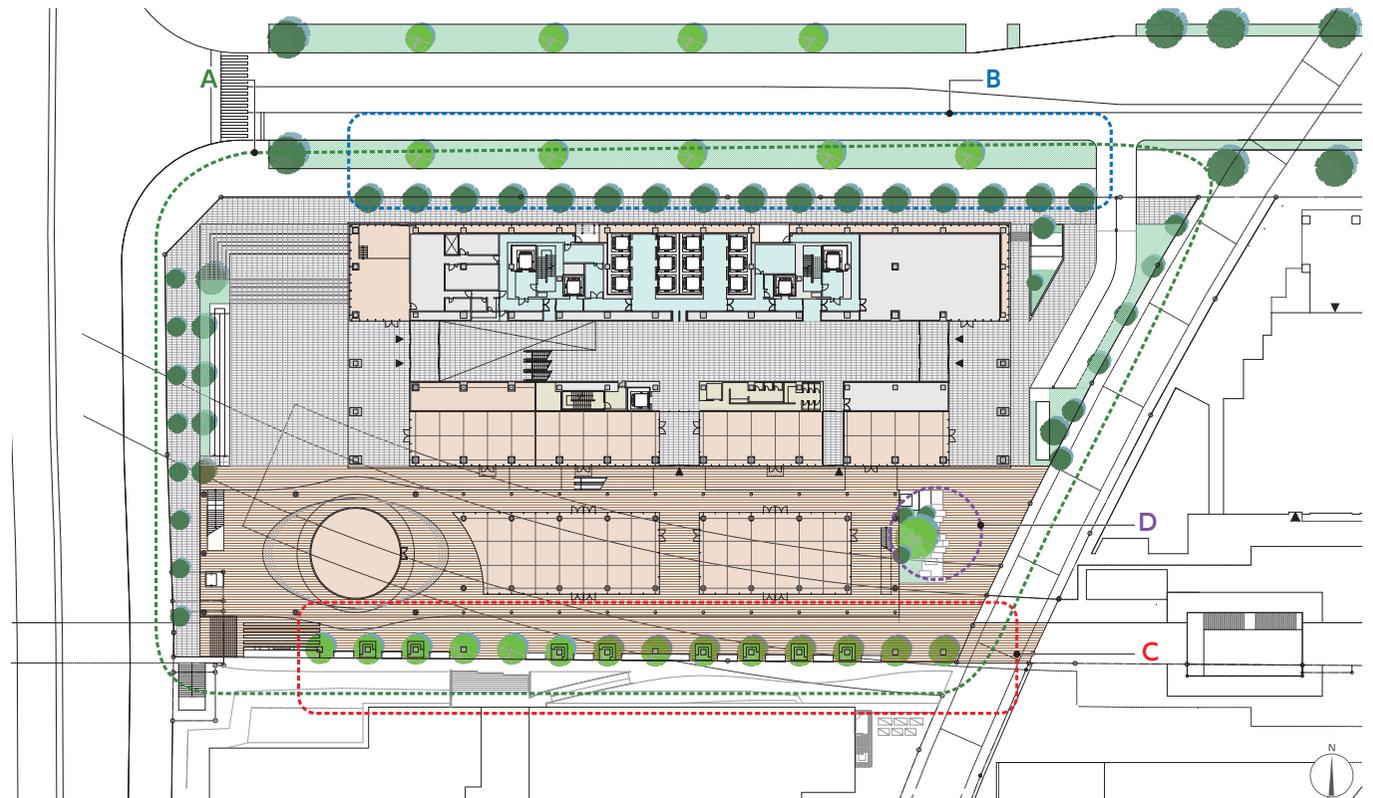
耐湿性に優れ、木陰を確保できる樹種。足元に人々の憩いの空間を確保しやすい、逆ほうき状の形状をもつ樹種とします。

主な樹種：落葉 アキニレ等

D：シンボルツリー

シンボル性の高い樹木。憩いの場にふさわしい樹種とします。

主な樹種：落葉 ケヤキ株立等



植生ゾーニング図 S=1/800

居心地良い空間を創りだす仕掛け

・植栽を照らした明るいグリーンルーフの下に、ベンチやスタンディングテーブルを配し、リビングのような照明器具を組込むなど、植栽・家具・照明を統合した細やかなデザインにより、居心地良い空間をつくります。

**アートベンチ
(シアタープラザ横)**
床パターンと一体となり、景観に融合した溜り空間をつくります。



**ツリーサークル
ベンチ
(テラスモール)**
アキニレ並木の木陰には、憩いの場となるベンチを設置します。

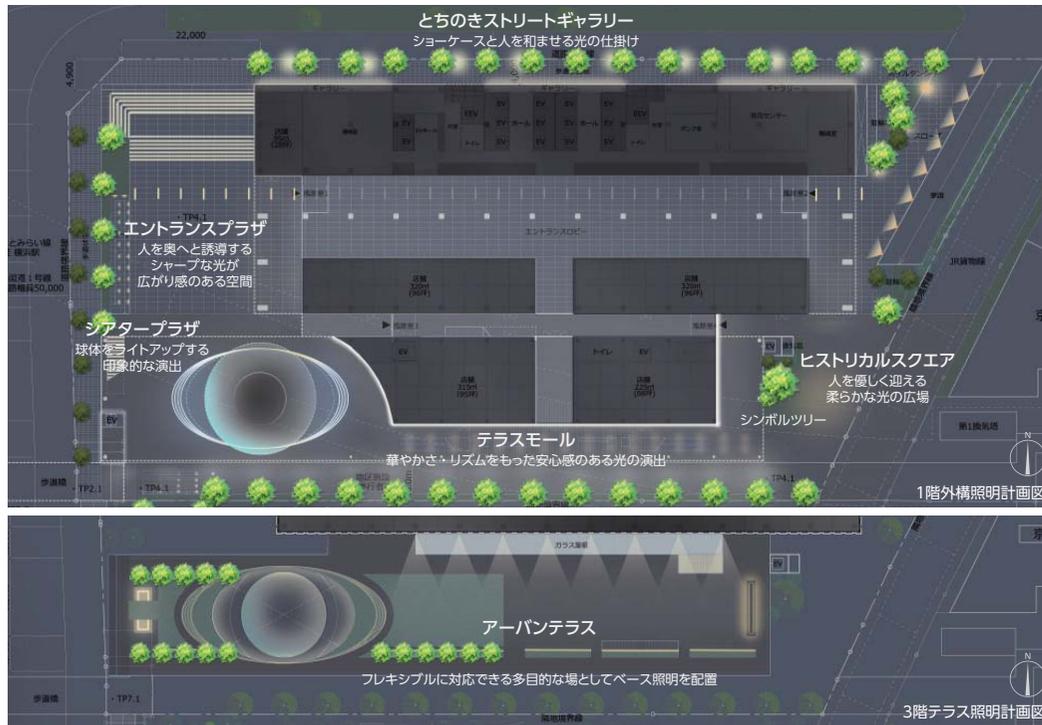


**アートベンチ
(ヒストリカルスクエア)**
様々な使い方を誘発し、コミュニケーションを活性化します。

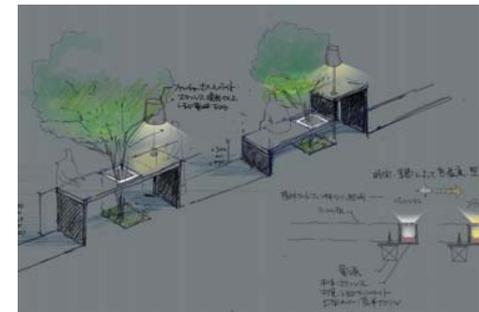


■ 人に優しい外構照明計画

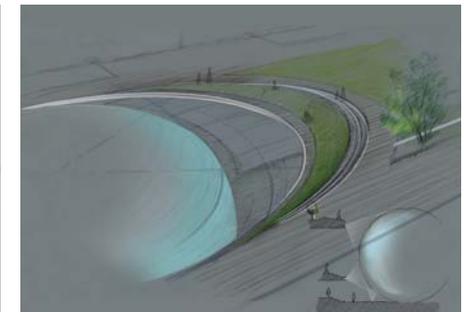
- キング軸は、植栽・家具・照明を一体でデザインすることで、夜間も憩いや交流を促す居心地良い滞留空間を創り出します。また、とちのき通りも含めバリアフリーに配慮し、歩行者動線や段差などを分り易く照らし、安全性を高める適切な照度とすることで、人に優しく美しい夜間外構照明とします。
- 3階アーバンテラスは、様々なイベントに対応する照明・電源に対応します。



歩行空間としての安全性を確保し落ち着いた雰囲気を出す照明計画



家具と一体となり人を和ませる光 (とちのきストリートギャラリー ファニチャー)



球体をダイナミックに照らす光 (プラネタリウム外装)

にぎわいを演出・安全性を確保する適切な照度

- テラスモール(キング軸)は、日本工業規格(JIS)に定められた商業エリアでの適切な照明とします。また深夜以降は、防犯基準照度クラスA以上とする範囲で減光することで省エネも実現します。

■ にぎわう明るさ(夕方~深夜)

歩行者に対する道路照明の基準 (JIS Z9111-1988)

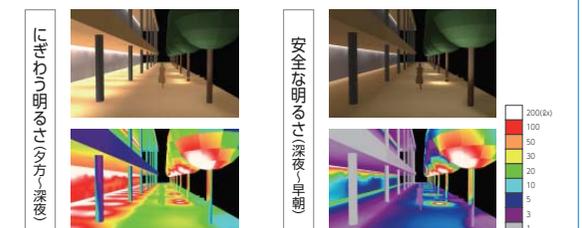
夜間の歩行者交通量	地域	水平面照度	鉛直面照度
交通量の多い道路 (クラスA)	住宅	5lx	1lx
	商業	20lx	4lx
交通量の少ない道路 (クラスB)	住宅	3lx	0.5lx
	商業	10lx	2lx

■ 安全な明るさ(深夜~早朝)

(社)日本防犯設備協会による「防犯灯の照度基準」

照度基準	水平面照度	鉛直面照度
[クラスA] 4m先の人の顔認識	20lx (平均値)	4lx (最小値)
[クラスB] 4m先の人の姿勢認識	10lx (平均値)	2lx (最小値)

■ 照度シミュレーション/テラスモール(キング軸)



みなとみらい21地区の特徴的な夜のスカイラインを形成する

みなとみらい21地区らしい夜のスカイラインを特徴づけ、海側から山側に向けて徐々に建物高さが高くなる斜めの稜線を、高層棟頂部のライトアップにより演出します。高速道路からはみなとみらい21地区ゲート部分の新たな景観として認識できます。

